

男女共同参画センター

りいぶる

～男女共同参画社会づくり～



写真提供：橋爪喜代さん（りいぶる人材養成講座修了生）

“りいぶる”相談室から ～あなたはあなたのままで～

“りいぶる”では、女性が抱える様々な悩みを受けとめ、自分らしく生きるためのサポートをしています。

まずはどんなことでもお電話ください。

相談専用電話 073-435-5246

◆総合相談 毎週火～土曜日 [面接相談] 9:00～17:30 [要予約]
[電話相談] 9:00～20:30
日曜日 [面接相談] 9:00～16:00 [要予約]
[電話相談] 9:00～17:00

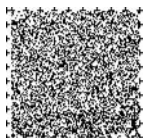
◆女性のためのカウンセリング

毎月第1～4金曜日 13:00～16:40 [要予約]

◆女性のための法律相談 月3回 13:00～16:10 [要予約]

◆女性のためのチャレンジ相談

毎月25日 14:00～16:15



CONTENTS

- 1 特集『次世代に伝えたい伝統文化
～そして地域のために～』
- 2
- 3 4 りいぶるフェスタ2010開催しました
- 5 講座れぽおと
- 6 平成22年度男女共同参画啓発ポスター
入賞作品決定・講座案内
- 7 男性の電話相談案内
参画課いんぷいおめーしょん

次世代に伝えたい伝統文化

～そして地域のために～

伝統文化は、担い手によって伝えられ、引き継がれていくものです。和歌山県の人口が、100万人を割り込み、人口減少の中で、担い手となる若い世代が少なくなっています。

そうした中で、地域の伝統文化の継承と地域の人々の集いの場を担ってきた神社もまた、後継者不足になっています。

そこでこの度、有田市にある神社にスポットをあて、後継者として活躍されている一人の女性神職（※1）を訪ねました。



みのしま 箕嶋神社、ごみょうおいし 五名生石神社、あまいし 天石神社

ごんねぎ 権禰宜 岩本 和子 さん

プロフィール

1981年生まれ

早稲田大学法学部 卒業

皇學館大學神道学専攻科 修了（神職資格取得）

神社の役割・神職としてのやりがい

神社は、お正月に家族みんなで参拝に行ったり、ご祈祷をしたりする場所というイメージが強いかもしれませんが、伝統文化を継承して発信していくことや地域社会でのコミュニケーションの場となることも期待されていると思います。

これらの期待に応えるため、実際に夏越しの茶会（7月）や新春茶会を開催しています。このような茶会は、私が皇學館大學時代に家元から直伝された日泉流煎茶礼道を、氏子地域の皆様に、実際に体験して頂くために催しているものです。こうして、皆様に日本古来の伝統や文化を知って頂けることにとってもやりがいを感じています。

周りの方々の御協力と御支援のもと、こうした伝統文化を地域に伝えていくことで、神職が担う使命を果たせていければ嬉しいです。

神職について経緯

神社の家に生まれ育ちましたが、大学では法学専攻で、神道の勉強とはまったく無縁でした。当時は、弁護士をしながら神職ができれば…という考えで司法試験の勉強をしていました。

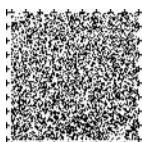
ところが、様々な事情が重なって、私が後継者として神職に就くことが必要となりました。そこで、神職資格を取得することを決意して、皇學館大學へ入学し、神職の道を歩むことになりました。

子供は私一人でしたし、神職を継ぐことに抵抗はありませんでした。小さい頃から年中無休で奉職する両親の姿を見ていたので、神職という仕事の大切さも身に染みて理解していました。

女性ということで困った事

女性だからということで困った事は特になかったです。高校も大学も男性のほうが多くて、皇學館大學時代でも1クラス30人のうち女性は私を含め2人だけでしたが、どちらかといえば、女性ばかりの中でのよりは、むしろ気楽に過ごせました。

宮中には内掌典ないしょうてんという祭祀をする女性がいますし、明治時代から終戦までの間を除いては、卑弥



呼の時代からずっと女性が祭祀を司ってきたので、あまり違和感はないです。

今後は…

創建から約800年続く神社を経営し、管理運営していくうえで、法律の知識は必要不可欠です。学生時代に培った法的知識と人脈を役立てていければと思っています。

これからは、お茶会だけではなくてお花、お琴、楽の会やお月見の会などを催して、地域の皆様の集いの場となることを願っています。そして、皆様には鎮守の森にてゆくりと自然の美を堪能し、伝統文化の素晴らしさに触れて、日常の疲れを癒していただきたいとも思っています。

～箕嶋神社を訪問して～

鵜飼や鮎釣りで有名な有田川のすぐ近くに箕嶋神社がありました。そこは、緑がいっぱいの木々に囲まれ、鳥のさえずりだけが響いていました。一步足を踏み入ると、厳粛な気分になり、日常の喧噪から解き放たれたような落ち着いた気分になりました。

普段あまり縁のない茶室に通されて、背筋がピンっと一本伸びた感じで緊張していると、神職 岩本和子さんが心のこもった作法で“皇服茶”（※2）をもてなしてくれました。

私達の目の前で、お茶の葉を炒るところから始まり、ひとつひとつの作法を丁寧に、（皇學館大學時代に）家元から直伝されたという日泉流煎茶礼道を披露してくださいました。

湯呑み茶碗を覗き込むと、煎茶の中に小梅と昆布がはいっていました。一口飲むと昆布の風味と小梅のやさしい酸っぱさが煎茶に溶けこんで、いつの間にか緊張も解きほぐされました。

岩本さんのような若い人達に、1人でも多く、地域の伝統文化の担い手として活躍していただきたいと願っています。

※1 神職…神社に奉仕して神事に従う者。神主。神官。（広辞苑）

※2 皇服茶…平安時代の昔から伝わるお茶で、天台宗の空也上人が京の都で伝染病を沈めるために、自らの祈りと共に人々に振る舞ったお茶といわれている。お正月に飲む縁起の良いお茶。



神社メモ

和歌山県の神社データ

和歌山県の宗教法人数は2,498法人あり、そのうち神道系は474法人あります。（県総務学事課 平成22年度調べ）

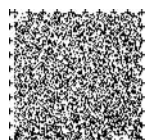
職階

宮司くわじ・・・神社の代表主 禰宜ねぎ・・・宮司の補佐役 権禰宜ごんねぎ・・・一般職員

神社の主なお仕事

- 地鎮祭、宮参り等、個人の祈願の祈祷（私的祭典）
- 10月の例祭、1月の歳旦祭さいたんさい、戎祭、7月の夏祭り（公的祭典）等の準備
- 神前で奉納する舞や、楽、祭式作法の稽古
- 敬神婦人会の役員の方々に茶道の講習
- 授与品の管理、授与
- 案内状、挨拶状の作製、発送
- 総代会、敬神婦人会、崇敬会、各会の準備
- 参拝者の接待、各種相談
- HP作製、更新等神社の広報活動

他



りいぶる フェスタ 2010

11月13日(土)和歌山ビッグホールにて
りいぶるフェスタ2010を開催しました。

「男女共同参画」を身近な問題として考えてい
ただくことを目的に開催しています。

今年は、ステージイベントとブース来場をあわ
せて575名のみなさまにお越しいただきました。

■公開講演会

講師：しらかわとうこ白河桃子さん(ジャーナリスト)
テーマ：『幸せのカタチ～婚活事情から～』



私は、「婚活時代」という本を、2008年3月に出版しました。その時に「婚活」という言葉がはじめて出てきたのです。その「婚活」という言葉、あっという間に多くの方に受け入れられブームになったのですが、なかなか、誤解も多く、一人歩きをしてしまいました。「婚活」というのは、お見合いパーティに行くこと、結婚相談所に行くことでしょと言う方もいらっしゃいますが、どうやったら結婚できるかというハウツーのことではなく、意識の変換のことなのです。

その意識変換が実は大きく今日のテーマ「男女共同参画」に関係があります。

意識変換というのは、片働き、つまり夫が働いて、妻は家で家事育児を中心にするというご夫婦から、共働き、男女が共同参画して、仕事も家庭も、つまりお金を稼ぐことも、家庭の家事育児を一緒にやっていく、そういうふうに意識変換をしていきたいと思います。それが婚活に必要な意識変換です。

昔は日本人の結婚というのは、お見合いとか社内結婚が多かったのですが、今はお見合い結婚は、6.7%しかありません。社内結婚もどんどん少なくなっています。この二つが少なくなったのが大きな結婚難の原因です。

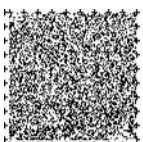


なんとなく待っていても、なかなか結婚できないなと思っていたところに、これからは婚活、自分でも意識的に出会いを探して積極的にやっていこうという言葉が出たので、多くの方が賛同してくださって、婚活はブームになったのだと思います。

成功する婚活とは、まず婚活中であることを皆さんに言う、周囲に開示することです、そうしないとなかなか紹介というのはきません。そして、もう結婚していらっしゃる方には是非お願いしたいのは、独身の方がいたら、是非おせっかいをやいてどんどん紹介してあげてほしいと思います。

結婚に向けての、女性のための意識改革、一生働き続けると覚悟すること、男性のための意識改革、少し外見を変えてみるなど、誠実なところをわかってもらうための入り口にたつこと、親の意識改革、子どもは独身であるということを恥ずかしいと思わないこと、親世代の結婚観を子どもに押しつけないことです。

それから、地域社会を元気にしていくことも一つの婚活なのです。地域ががんばって地域を活性化させると自然に若い方も戻ってくるし、子どもも増えるのです。ですから、皆さんでこの地域社会を活性化させていく、男女一緒になって活性化させていくということも、これから先、子供が増えて子どもの笑い声や笑顔が増える町というものをつくることに繋がってくると思います。



男女共同参画 いきいき大賞 表彰式

県内で積極的に男女共同参画を推進している個人・団体に贈られる賞です。

今年度は個人2名、団体3グループが受賞されました。

■ベストパーソン賞



熊谷 重美さん (日高郡日高川町)

子どもを守る地域声かけ運動から活動を始められ、その活動が契機となり、子育てを行う母親たちが集えて学べる子育てサポートネットワークを立ち上げ、様々な事業を展開されています。交通指導員会長や、日高川町議会議長に就任され、また、和歌山県青少年育成県民運動推進委員として任命されるなど、さらに様々な場面で活動の場を広げられています。

種村 秀子さん (岩出市)

岩出市男女共同参画推進委員会のメンバーで、活動にあたり県内外の研修に参加するなど、日々研鑽を積み重ねています。大人だけでなく小さい子どもにも理解できるように、啓発方法を研究され、推進員会の中で提案し男女共同参画を知ってもらえるきっかけをつくられました。岩出市において、男女共同参画社会の実現やまちづくりに熱い思いをもち、積極的に活動を続けられています。



■ベストグループ賞



子育て支援サークルあったカフェ (東牟婁郡串本町) 代表：岩崎ひろみさん

地域の子育て情報を交換しあい、育児の悩みを打ち明け、ひとりぼっちの子育てをさせないという活動を中心に取り組んでいます。メンバーは、自分たちの個性を活かし、地域の子育て支援を考え、それぞれができることを分担し、いきいきと活動されています。平成22年度において、厚生労働省の地域子育て創生事業にチャレンジされ、串本町にとっての子育て支援の拠点になりつつあります。

株式会社ラカン (田辺市) 代表取締役：朱洋子さん

スタッフ全員が女性だからこそその強みを活かし、デザインや企画を主とした仕事をされています。紀南を盛り上げるべく、地域のプチ情報を配信したり、田辺市市街地回遊強化事業「子どもを主役とする参加型イベント」を提案し、取り組みをサポートされています。子どもがいても、向上心をもった女性がいきいきと働けるよう託児所付きの社屋を建てることを視野にいれた職場環境づくりに尽力されています。



和歌山電鐵株式会社 (和歌山市)

代表取締役社長：小嶋光信さん (写真は総務課長の麻生剛史さん)

いちご電車やおもちゃ電車、たま電車の運行など、様々な取り組みをされたほか、沿線住民とともにイベントを実施するなど地域振興に大いに貢献されています。また、男女共同参画推進事業者であり、女性の採用拡大に積極的に取り組まれています。女性運転士を1名採用されているほか、男女比を5:5にすることを目標、育児休暇を取得しやすくするため、社内規定の見直し等復帰しやすい職場の環境づくりのための検討をされています。

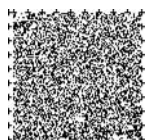
♪ハンドベル演奏によるミニコンサート♪

和歌山信愛女子短期大学の学生サークル「セシリア・ベルズ」の皆さんにハンドベルを演奏していただきました。「星に願いを」や「ミッキー・マウス・マーチ」など、清らかなハンドベルの響きに癒されました。



女性のチャレンジャー坪ショップ

二人展(押し花ミニ展示、写真と言の葉のミニ展示)、スワロフスキーアートのネイル体験、羊毛フェルト体験など、楽しいスペースを出展していただき、多くの方々に体験をしていただきました。



ダイバーシティと男性共同参画

「男のしんどさ、考えてみようー男性からみた意味ー」

開催日時：10月2日（土） りいぶるA会議室 13:30～15:30

講師：立命館大学・神戸大学 非常勤講師 伊田 広行 さん

参加者は約半数が男性で、男性の関心の高さがうかがえました。

はじめに「“男らしさ”とは何か？」続いて「男らしさにとらわれている。しんどいなあ」と思う点を参加者自身で考えた後、全員で共有しました。これには「男は泣かない」「娘より息子に期待をかける」などの声がありました。

また、後半は多様な生き方を選択した男性たちを紹介したビデオを視聴し、多様性を受容すること



のさまざまなヒントを得ました。講師は、多様性を受容するという事は違いを認め合うことであり、一人ひとりの多様性を認めることが男女平等であると話されました。最後に3ヶ月以内に自分のワーク・ライフ・バランスをよくするために必要なものをあげてランキングするワークをし、全員で共有しました。参加者それぞれがワーク・ライフ・バランスのとれた自分らしい生き方のためのヒントをいただいた、示唆に富んだ講座となりました。

「その子らしさを大切に！～エンジョイ子育て～」

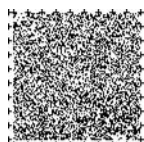
開催日時：10月7日（木）和歌山市 10:00～12:00

11月7日（日）紀の川市 13:30～15:30

講師：アトム共同保育園園長 市原 悟子 さん

参加者のほとんどが、子育て中の女性でした。

講師は、穏やかな語り口で「子育てがしんどいのは当たり前、悩むのは恥ずかしいことじゃないよ」と話され、参加者の悩みや質問に答えながら講演されました。子どもはそれぞれ「色」（＝個性や意思）を持って生まれている。3歳児神話などに縛られず、人それぞれの母性で育てればよいと言われ、大人も子どももいろんな人と関わり、価値観を認め合える環境づくりが大切と話されました。子育てのちょっとした愚痴や悩みを気軽に話せる場所が減り、全ての責任が母親にかかる緊張感の子育てから、「ほどほど」感のある安心した子育てへの転換が求められていると感じました。終了後も時間の許す限り相談に答えていただき、参加者の気持ちがほぐされていく講座でした。



平成22年度男女共同参画啓発ポスター入賞作品決定

男女共同参画をテーマ（「つながるとできるよ まぁ～るい社会」、「夢も心も 色いろ みとめあって 共同参画」、「みんなでスクラム組もう 輝く未来へ タックルや」）とした啓発ポスターを募集しました。県内から201点の応募があり、その中から最優秀賞5点、優秀賞10点が選ばれました。



岡崎 楓さん
和歌山市立三田小学校(6年)



岡田 和典さん
和歌山市立雄湊小学校(6年)



田中 千菜津さん
有田市立文成中学校(1年)



高力 夏花さん
和歌山県立星林高等学校(1年)



優秀賞のみなさん



宮本 美希子さん
和歌山県立星林高等学校(1年)

- 新谷 春日さん 和歌山市立宮北小学校(1年) 清水 莉帆さん かつらぎ町立渋田小学校(5年) 出口 奈侑さん 岩出市立根来小学校(5年)
青木 菜奈さん 和歌山市立雄湊小学校(5年) 望月 楓さん 和歌山市立雄湊小学校(6年) 小畑 修平さん 和歌山市立雄湊小学校(6年)
志茂 文香さん 和歌山市立東中学校(2年) 河野 葵さん 和歌山市立明和中学校(2年) 大西 彩夏さん 和歌山県立星林高等学校(1年)
番匠 由麻さん 和歌山県立星林高等学校(1年)

路線バス（和歌山バス）への展示について

応募のあった全作品を和歌山バス(株)の協力を得て、路線バス車内へ順次展示します。

- 展示路線 和歌山市駅～JR和歌山駅間（バス6台）
- 展示期間 平成22年12月～平成23年4月
- 展示方法 作品（1台につき7作品程度）を車窓に展示、1ヶ月毎に作品を入れ替える。（毎月25日頃に入れ替える予定）
（ご注意）車両の点検等により展示車両の運行がない場合や、展示車両を変更する場合があります

講座案内

性暴力被害者支援講座 「性犯罪被害にあうということ」

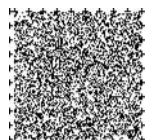
- 開催日時・場所**
- ① 2月27日（日） 13:30～15:30
田辺市民総合センター 4階 交流ホール（田辺市高雄1丁目23-1）
 - ② 3月5日（土） 14:00～16:00
東牟婁振興局 3階 大会議室（新宮市緑ヶ丘2-4-8）

講師 小林 美佳さん 性犯罪被害者支援活動「みかつき」主宰

対象・参加費 一般・無料

定員 各30人（先着順）

一時保育 有り（1才～小学2年生。①は2月15日、②は2月18日までに事前予約が必要。ただし、①、②とも先着10人まで。）



“りいぶる” 相談室・男性相談（電話相談）



和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”は、男性のための電話相談を実施しています。相談を通じ、社会的につくられた「男らしさ」へのとらわれに気づくとともに、自分を大切にする気持ちを取り戻し、その人らしい生き方ができるようにサポートします。

家族関係の悩み、パートナーとの気持ちのズレ、職場や地域社会でのストレスなど、どんな事でも「しんどい」と感じたらお気軽にお電話ください。

男女共同参画の視点をもった男性相談員が、気持ちを受け止め一緒に考えます。

秘密は厳守し、相談は無料です。

- 相談実施日 毎月第二木曜日
平成23年1/13、2/10、3/10
- 対象 男性
- 実施時間 各回16:30～20:30
*相談時間はひとり50分程度
- 先着順・予約優先
- お問合せ・相談の予約、受付
“りいぶる”相談室・男性相談窓口
TEL 073-435-5246
- 予約受付時間
月曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く
9:00～20:30
*日曜日は9:00～17:00

青少年・男女共同参画課いんぷおめーしょん

男女共同参画推進事業者を登録しました。

和歌山アイコム株式会社（登録番号 男女第49号）平成22年10月26日

所在地 有田川町 業種 無線通信機器製造

H P <http://www.icom.co.jp/>

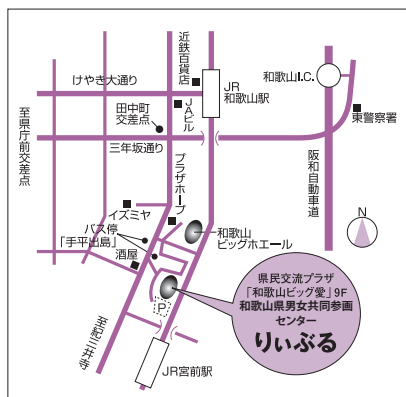
- スキルアップ・ステップアップ支援のため、独自の通信教育制度を整備するとともに受講料を補助
- 残業削減のために、ノー残業デー・時差出勤制の導入
- 計画年休制度を導入するとともに、管理職に育児・介護休業制度の説明会を実施するなどの休暇取得を奨励
- セクシュアル・ハラスメント防止の啓発ポスター及び文書を掲示
- セクシュアル・ハラスメント相談・苦情への対応フローを作成し、周知徹底を実施
- 相談窓口、担当職員を明示するとともに、担当職員が対策講座等を受講するなどの体制を構築

社会福祉法人 高瀬会（登録番号 男女第50号）平成22年11月2日

所在地 古座川町 業種 介護保険事業

H P <http://www.takasekai.or.jp/>

- 男女の区別無く、能力等に応じて管理・監督者に登用
- 男女の区別無く、採用・人事評価を実施
- 資格取得のための研修旅費、宿泊費を補助
- 一部の資格については奨学金制度を整備
- 育児・介護休業規則を整備、職員へ周知を徹底
- セクシュアル・ハラスメント防止規程を整備
- セクシュアル・ハラスメントに関する苦情処理体制を整備



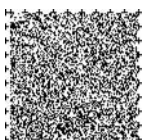
■企画・発行

和歌山県男女共同参画センター
りいぶる

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛9F
TEL (073) 435-5245・FAX (073) 435-5247
URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/index.html>

開館時間 火曜日～土曜日：午前9時～午後9時 日曜日：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜日・国民の休日(祝日)・年末年始(12月29日～1月3日)



“りいぶる”では皆さまのご意見、情報をお待ちしています。[メールアドレス]e0315011@pref.wakayama.lg.jpまで